

その他の商業－その他における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8～9	16t吊りラフタークレーンで現場へ向かう途中、走行中に対向車とすれ違う際、サイドミラーが気になり左に寄りすぎてしまい、タイヤが路肩からはずれ、そのまま30m位斜めになって走行し、横転したはずみで腰・膝等を打撲し、首をひねった。	19～49	30～
1	9～10	物件視察へ向かう途中、路上を自転車でゆっくりと走行中、T字路手前の看板から交わる道路を確認、停止線上に車両がなかった為、交差点へ侵入したところ、加害者タクシーが出てきた為、ぶつかり左ヒザを強く打ち、腰・手・首に衝撃を受け負傷した。	42	—
4	5～6	自社車両2台で工場を出発し、赤信号で交差点で止まる。信号が青になったので発進すると左側から信号無視のトレーラー車が交差点に進入し、先頭車両に衝突した。	72	1～9
4	12～13	高速道路出口一般道合流地点にて、社用車運転中高速道路を降り一般道に合流する際、一旦停止して右後方を確認中に後方から追突された。	43	1～9
4	4～5	路上でトレーラーを誘導し、先導車に戻ろうと振り向いた瞬間、直進して来た乗用車にはねられた。	70	10～29
5	19～20	走行中、追越車線に停車中の事故車両に接触し、スピンしてガードレールに衝突した。	26	50～99
7	14～15	下り坂を自転車で走行中に帽子を飛ばし、咄嗟に振り向いたところ自転車のバランスを崩して転倒した。	57	30～

				49
7	15～ 16	車を運転中、後ろを走っていた車の運転手の前方不注意により追突され、首を捻挫した。	45	10 ～ 29
9	7～8	業務で会社の車両を運転して、所属するガソリンスタンドへ戻るため道路を右折しようとしたが、直進してきた対向車と衝突したものである。	29	10 ～ 29
9	14～ 15	トラックを回送中、トラックの荷台が空の状態だったのと、雨によりタイヤがすべりやすくなっていたため、右カーブを曲がった際に後ろが左に振られ、右にハンドルを切り、アクセルを踏んだまま反対車線の縁石に乗り上げ、標識を倒し、壁に激突し受傷した。	32	1～ 9
10	10～ 11	プロパンガス配送のため、社用車を運転中、見通しのよい県道にて信号待ちをしていた。青信号になり発進すると、数台前の自家用車が信号のないT字路を右折しようとしたが、対向車に気づき停止し、後続車両も順次停止したので、当車両も一時停止したところ、前方不注意の後続車両にノーブレーキで追突され、負傷した。	35	30 ～ 49
10	18～ 19	レンタカーを運転中、見通しの良い片側3車線の直線道路から左折する際、安全確認のため、一時停止したところ、いきなり相手車両に追突された。追突の衝撃で首と腰部を強打。頭もクラクラし救急搬送された。	24	10 ～ 29
11	9～ 10	移動中、農道を走行中、凍結路面にて車両がスリップし、道路側溝脇に衝突し、反動で進行方向に対し、反転した状態で停車した。	34	10 ～ 29
11	13～ 14	チラシ投函業務において、自転車で移動中、車輪が線路の溝に引っ掛かり誤って転倒した。左手首骨折と診断された。	69	500 ～ 999
12	18～19	客先へ商品を納品する途中、走行車線から対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックに衝突した。衝突の衝撃で右股関節が外れ、救急車で病院に運ばれた。自車とトラック共に走行不能となったが、トラックの運転手に怪我はな	31	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html